

全国キャンペーン in 久留米 取材のご案内

～ 暗数と言われる日本の性暴力被害経験者は女性7.8%、男性1.5% ～

**#Me Tooで変えよう！ 刑法性犯罪
～ Spring 全国キャンペーン in 久留米 ～**

2020年刑法改正見直し案の実現に向けて、当事者によるロビイングワークショップを開催
2019年8月24日（土）第4弾イベント@久留米市男女平等推進センター

日本で初めて法人化した性被害当事者等団体として、性暴力に遭っても生きる希望を持てる社会を作るため、アドボカシー活動を展開する一般社団法人Spring（代表理事：山本潤、所在地：東京都中央区）は、全国キャンペーン『#Me Tooで変えよう！ 刑法性犯罪』を2019年3月より開始。

刑法性犯罪の見直しに向けた全国的な機運を盛り上げるため、これまで神奈川、大阪、沖縄で開催したイベントを、第4弾の今回は久留米市にて開催いたします。

■ 暗数と潜在化している性被害者

内閣府の男女間における暴力に関する調査（平成29年度調査）によると、無理やりに性交等をされたことがある経験者は女性は7.8%、男性では1.5%、女性の13人に1人、男性の67人に1人の計算になります。この数字は“暗数”と言われ¹、社会にはまだまだ沈黙する被害者が数多く存在します²。

1. 一般国民を対象としたアンケート調査等により、警察等に認知されていない犯罪の件数（暗数）を含め、どのような犯罪が実際どのくらい発生しているかという実態を調べる方法（暗数調査）
2. 平成29年度内閣府男女共同参画局調査によると「異性から無理やりに性交させられた経験」のある人の中で、警察に届け出た人は女性2.8%、男性8.7%であった。

■ 改正後に相次いだ無罪判決に対する抗議の声

2017年、110年ぶりの刑法の改正が実施されましたが、国連などの勧告や世界的潮流からみれば十分なものとはいえず、法務省も3年後（2020年）をめどに見直しを検討するという「附則」をつけました。そして、2019年3月には性暴力事件に関する無罪判決が相次ぎ、ネットや市井で抗議の声が上がり、4月11日（木）に開催されたデモ（itsrape_japan 主催）には東京駅前に400人が集まりました。その後もデモは「フラワーデモ」として毎月定期的に行われ、全国各地に発展。8月には*18都市での開催となり、司法の改善を求める声が全国的に高まっています。

（札幌 盛岡 仙台 岐阜 東京 千葉 長野 名古屋 京都 大阪 神戸 明石 松山 福山 福岡 熊本 鹿児島 沖縄）
：フラワーデモ公式twitterより@_flowerdemo

■ 山下貴司法務大臣・最高裁判所長官に要望書を提出

2019年5月13日（月）、一般社団法人Springは山下貴司法務大臣ならびに最高裁判所長官に「改正刑法（性犯罪）の運用及び、附則第九条における見直しに向けた要望書」を提出し、その後記者会見を行いました。その模様がテレビや各紙面、インターネット記事で広く報道され、「性被害の実態に即した更なる刑法性犯罪改正」への関心も高まってきています。

■ 無罪判決が下された久留米市での開催

今回のイベントの開催地となる久留米市では、性暴力事件に下記の無罪判決が下されました。

2019年3月12日、福岡地方裁判所久留米支部は、女性が飲食店で深酔いして抵抗できない状況にある中、性的暴行をし、準強姦罪に問われた福岡市内の会社役員男性に対し、「女性はテキーラなどを数回一気飲みさせられ、嘔吐しても眠り込んでおり、抵抗できない状態だった」と認定。しかし、女性が目を開けたり、何度か声を出したりしたことから、「女性が許容している、と被告が誤認してしまうような状況にあった」「女性が拒否できない状態であったことは認められるが、被告がそのことを認識していたと認められない」として、無罪と判断。3月26日に検察側が控訴。

この無罪判決を私たちはどのように受け止め、社会に働きかければいいのか。イベントでは市民の声を政策決定の場に届ける「ロビイング」というアドボカシーの手法を、ワークショップを交えてお伝えいたします。私たち市民には「繋がり、声を上げ、行動することで、望む社会を作る力がある」ということを実感できるイベントにしたいと考えております。
ぜひご取材いただきたくご案内いたします。

【 開催概要 】

- タイトル : 「#MeTooで変えよう！刑法性犯罪」～ Spring 全国キャンペーン in 久留米～
- 日時 : 2019年8月24日(土) 18:30～21:20 (18:15開場)
- 会場 : 久留米市男女平等推進センター 210・211研修室
久留米市諏訪野町1830-6 え～るピア久留米内

<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2020shogaigakusyu/3060shisetsu/2009-0311-2022-249.html>

- 参加費 : 500円(資料代) * 報道関係者の方にもお支払いをお願いしております。
- 定員 : 72名 * 定員になり次第、申し込みを終了させていただきます。
- 保育 : なし
- 取材申込

以下の必要事項を明記の上、event@spring-voice.org へメールをお送りください。

- ・メールタイトル : 【8/24久留米】取材申し込み(所属: 氏名)
- ・メール本文 : 所属・氏名・参加人数・連絡先
- 主催 : 一般社団法人Spring <http://spring-voice.org>
- 協力 : NO!SHくるめ・あいたた倶楽部
- * 本イベントは、「LUSH JAPAN チャリティバンク」の助成を受けて開催されます。

【 内容 】 * 今後変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

I. 刑法性犯罪最前線

- <1>Springの歩み
- <2>残された課題と展望

休憩

II. 体験ロビイングワークショップ

- <1>ワークショップ
- <2>質疑応答
- <3>#OneVoice キャンペーン 写真撮影

III. 地方ロビイングオリエンテーション

【 報道関係者の皆様への御願い 】

- ・活字媒体の公開にあたりましては、Springスタッフに内容確認依頼(事実確認)をお願いいたします。
- ・団体スタッフの中には撮影・取材不可の者もおりますので、ご了承ください。
- ・性暴力というデリケートなテーマを取り扱っているため、ご理解ご協力をお願いいたします。

一般社団法人Spring ～性被害当事者が生きやすい社会へ～

【HP】 <http://spring-voice.org>

【ブログ】 <https://ameblo.jp/spring-voice-org/>

日本初の性被害当事者団体として2020年の刑法見直しを見据え、性暴力に関する政策提言に取り組み、性暴力に遭っても生きる希望を持てる社会のルールを作るため活動しています。性被害を受けた人がフリーズ（凍りつき）から動き始め、人生の冬を過ごしている全ての人の心に春が来るよう願いを込めて、2017年7月7日に立ち上げました。

- 私達のゴール
1. 性被害を受けた人が被害者と認められる
 2. 性被害を受けた人、周囲の人が適切な支援を受けられる
 3. 性暴力の真実を伝え、共に生きられる社会をつくる

上記が実現されるよう、性犯罪の実態に即した刑法性犯罪改正を求めています。

<取材申込 および 本件にするお問い合わせ先>

一般社団法人Spring担当者名：山本 潤 TEL：080-3790-1500 / E-mail：info@spring-voice.org
